

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R8(2026).2.18

No.15

豊岡市のホームページにもアップしています。豊岡市HP→上段「暮らし」→「教育・学校」→「教育研修センター」へ

豊岡市教育研修センター運営委員会より～今年度の研修の成果・課題を次年度へ！

- 課題は、各種研修が実施される中で、同僚への情報共有の仕方等、しっかり行える体制を作りたい。
- 教員として、教育活動に携わる以上、法規について学ぶ研修があればよいと感じている。
- 各教科において、高校進学を見据えた小中の連携が取れたらよいと感じる。
- 来年度、兵教大との連携協定による講師紹介は大変有り難い。(講師の方を探すことに一苦労していたため)
- 全体として、各種充実した研修に参加する教員がしっかり目的意識を持って参加することが大切だと感じる。
- 市教委との合同研修会では、お互いの疑問等を対面式で確認できたことが本当にありがたかった。
- アイパッドやグループウェア、Wifi環境等、さらに整備していただけるとありがたい。
- 架け橋プログラムについて、園小の先生がお互いの保育教育を共有し合えるよう引き続きお願いしたい。
- 研修が充実しており大変ありがたい。こんな研修があるという情報が、担当の先生以外の先生にどれだけ伝わっているのか。周知の仕方を各校で工夫する必要があると感じている。
- 職員室での会話も研修の一つ。種々研修のあり方があると感じている。研修での学びをどう生かそうとか、どう広めようかと考えている。
- 演劇WSの参加の取りまとめを幼児育成課がしてくださり、参加しやすくなった。
- 教育フォーラムで、今年度は園の発表があった。園の実践が共有できたことがとてもよかった。
- 各研修の動画、国、県、市内の成果物におけるQRコードの活用について、さらに周知をお願いしたい。
- 多くの研修があるが、現場の先生が実際感じておられる意見を集約できる場があったらよいと思う。
- 教員にとって研修は自分を振り返り学びを深める大切なもの。引き続き、来年度も、新しい視点を入れ、先進的に計画的に研修を進めていただきたい。 ※内容については、一部抜粋したもの

教職員の探究的な学びー教職員の学びは児童生徒の学びと相似形ー

滋賀県総合教育センターでは、教職員の豊かな気づきの醸成に向けた研修スタイルを模索しています。名称を「探究型研修」として、次の3点を大事にして研修を進めています。

- 1 受け身の研修ではなく、**主体的な研修**へ！
- 2 講義を聴くだけでなく、**考えること**を大事にする研修へ！
- 3 知識や技能の習得だけでなく、**自分のあり方に気づくこと**を！

今年度、豊岡市内各校の校内研修や研究発表会に訪問させていただくたびに、「目の前の子供たちの学びにアプローチしようとする先生方の教育に対する熱意」を感じました。学びを止めない先生方の教育実践が、豊岡市の子供たちの「在りたい自分」や「在りたい未来」を創造する力の育成につながります。

次期学習指導要領の論点整理では、質の高い探究的な学びの一層の充実が掲げられました。

豊岡市教育研修センターとしましても、運営委員会で協議いただきました今年度の成果と課題について、丁寧に検証し先生方の学びの後押しができるよう先生方が主体的に研修に取り組むことができる研修体制を来年度も構築していきたいと考えています。また、実効的な研修となりますよう前向きなご意見をお伝えください。

